

■作者名/平岡 規佐子・作品名/無題(油彩)・サイズ/縦227cm×横181cm

awa onna akindo juku Vol.4 Spring 1998

編集・発行/AWAおんなあきんど塾・徳島市 ■お問い合わせ先/徳島市商工課 徳島市幸町2丁目5 Tel:0896-21-5225・5226 Fax:0896-21-5196 ■デザイン/(株)アワード

AWA

awa onna akindo juku

おんなあきんど塾

おんなあきんど塾

AWA ONNA AKINDO JUKU

1998

Spring
第4号

「女性起業家が育つまち・とくしま」へ/耳寄りニュース/人生をひらくメンターの存在/とくしまってこんなまち・データからみた徳島/経済と文化の融合

「女性起業家が育つまち・とくしま」へ

組織で支援の風土づくりを

TOKUSHIMA CITY

AWAおんなあきんど塾では、徳島経済に活力を取り戻そうと、「女性起業家の育成」に取り組んでいます。

シンポジウム、セミナー、ビジネスメッセがそれで、起業意識の拡大や起業のためのノウハウ学習の機会提供などを具体的に実施してきたわけですが、このほど「起業家を育てるには地域の持つ知識や情報を、ネットワークで支援することが大切」と、育成事業の展開として『女性起業家が育つまち・とくしま』構想を提唱しました。

PROPOSALS
そこで提案!

「サポートサービスバンク」の設立を!

いま、地域経済は変革のうねりのなかにあり、徳島も例外ではありません。

加えて、明石海峡大橋の開通をはじめとする周辺環境も変わりつつあります。

このようなときに「経営者自らの手で、行政と協働して、徳島経済活性化のためにアクションを起こそう」と、AWAおんなあきんど塾のメンバーは活動を行ってきました。

「女性起業家を創出すること」もそのひとつとして、昨年から起業をテーマにシンポジウムやセミナーを開催し、起業希望者が勉強を重ねてきました。

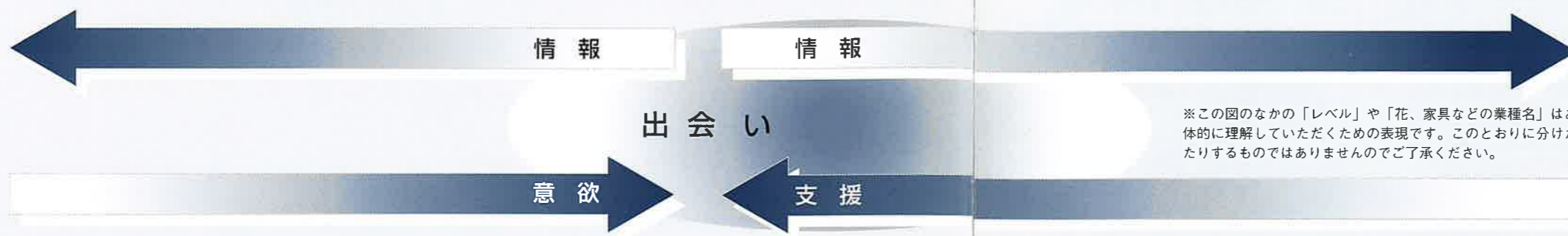
その結果、起業というSEEDS が芽吹きはじめたのではないかとの思いを持っています。

しかしながら、起業家への支援のウエーブはまだまだ小さいものであり、支援者・組織は個々に支援体制を取っているため、せっかくの効果も生かしきれていないのではないかと、考えています。

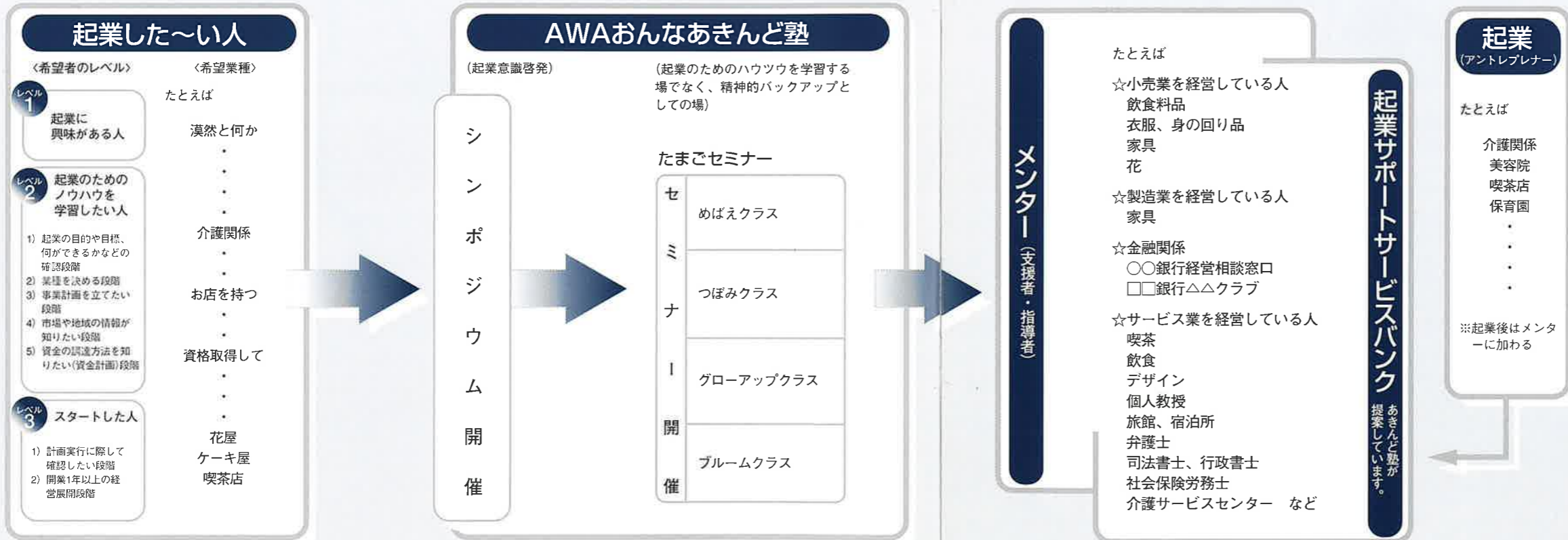
そこで私たちは、これらのネットワーク化を図り、一連のバックアップ体制で「女性起業家が育つまち・とくしま」を目指したいと思っています。

そのためにも、事業の立ち上げなどを支援していく組織・人のデータベースとして、インターネット等を利用し、誰でもが広く支援を求めることができる「サポートサービスバンク」の設立を提案します。

実施したものを、「精神的バックアップ」の場として見直したものです。開催時期は2月16日(月)・23日(月)夜を予定。講師やプログラムなど詳細は、「広報とくしま」などで広報しますので、ぜひご参加ください。



※この図のなかの「レベル」や「花、家具などの業種名」はあくまでも具体的に理解していただくための表現です。このとおりに分けたり、固定したりするものではありませんのでご了承ください。



地域経済の活性化一。
言い尽くされた言葉ですが、いまの時代だからこそ、キーワードですよね。
規制緩和、地方分権……
私たちの国には、産業構造改革のうねりが押し寄せてようとしています。中央で金融経営の破綻が相次ぎ、地方経済への影響も心配されています。

このようなとき、徳島経済を活性化する方策のひとつとして、AWAおんなあきんど塾は“女性起業家を多く輩出すること”にこだわり、いろいろに支援をしてきました。
しかし、そのなかで思い当たったことがあります。
それは「個々」の力ではなく「ネットワーク」全体の組織力で支援をすれば、もっと効果がでるのではな

いか、ということ。
例えて言えば、Aさんが起業の準備をしていたとして、業界情報を知りたいけれどどこで入手してよいかわからないとき、周辺を見回せば手を差し延べてくれる支援者がいる、というような“まち”にしたい、そんな風土を持った徳島にしたい、ということなのです。
具体的には、シンポジウムやセミ

ナー（ハウツーを学習するのではなく、精神的支援の場とするもの）で起業への意識を高め、固めて、つぎによいよ起業段階の人のうち希望者にアドバイスしたり情報提供をする「ネットワーク化された支援者の存在」がある一。
徳島のまちで、そんなシステム確立を目指したいと思っています。

耳寄りニュース

AWAおんなあきんど塾と徳島市では、女性起業家の創出のための「たまごセミナー」開催を予定しています。
これは、女性の起業支援として、昨年度に事業計画や資金計画の立て方などのハウツー習得を中心として

「たまごセミナー」開催

実施したものを、「精神的バックアップ」の場として見直したものです。開催時期は2月16日(月)・23日(月)夜を予定。講師やプログラムなど詳細は、「広報とくしま」などで広報しますので、ぜひご参加ください。



人生をひらくメンターの存在

起業をサポートする大切なコーチ

私たちが人生を生きる時、青春時代や父であり母である時代、実年時代などその時々を受ける適切なアドバイスは、人間としての成長を促してくれるものです。

仕事を進めるときもまたしかり。スランプに陥ったり、迷ったりすることがよくありますが、こんな場合には、その道でのコーチがいるかないかで随分と道が開けてくるものです。

これらコーチのことを「メンター」といい、語源はギリシャ伝説のなかのトロイ戦争で、オデシウスが出陣の際、その子テレマカスの教育を託した友人・Mntorの名に由来するといわれ、転じて良き指導者、教師のことを指します。

AWAおんなあきんど塾では、前ページで述べたように「女性起業家が育つまち・とくしま」づくりの展開を目指していますが、このなかで起業家への支援者として「メンター」の存在を考えています。

気がつけばメンター

最初から“意識して”行ったことではなかったけれど、自分の仕事の範囲で、問われて教えたり、相談に乗ったりしている。

いわば肩肘はることなく、起業への草の根支援をしている人たちが、私たちの周辺にも多くいます。

そんな人こそ、あきんど塾では「メンター」と呼びたい、と思っています。

そこで、本欄では、「自分ではそんなつもりではない」とおっしゃるのだけれど、メンター的活動をされている人に登場を願って、その活動の内容やきっかけ、目指すものなどを語っていただきました。

徳島のみんが生き生きしてほしい

徳島市大原町 インテリアコーディネーター 豊岡 和美



私は主婦であり、母であり、そしてインテリアコーディネーターです。

夫が建築設計事務所を始めた当初は、子育てに追われ、家庭の内を向いているときもありました。しかし私は、何か夫をサポートできることはないか、そして私の特質を生かせることはないかと考えあぐねていま

した。ある時、はたと気づいたのです。構造物を造っている夫を側面から支えるのはインテリアコーディネーターしかない、と。

子育てをしながらの勉強は思いの他大変でした。でも、この資格を取った時から、私の暮らしはキラキラと輝きはじまりました。

夫との二人三脚の仕事は本当に楽しくやりのあるものです。

こうして自分がとても楽しいのは、自分の作品の発表の場があり、人に認められるからだ気づいたのです。

その日から私は、私と同じような思いのアーティスト、クラフトの方に私たちの事務所の地階ギャラリーを開放することを決めたのです。

徳島で頑張っている、発表する場が少ない、もっとたくさんの人に見てもらっている人々と出たい、そんな作家たちにと、たった年間に4回程度ですが作品展を開いていただくようになって、はや5年。

その間たくさんの出会いがあり、私も、見に来てくださった方々も、皆がほのほとした喜びに包まれてきました。

これからも、この活動をずっと続けて、もっともっと多くの人々の発表や出会いの場を作りたいと考えています。

徳島の生活も文化も経済も、すべてがこんな小さな出会いから大きくふくらみますように、と願いを込めて。

経営アイデアを生む仲間づくり

徳島市南庄町 税理士・経営コンサルタント 川人 洋一



私が税理士になって何年かたったころ、ある時ちょっとしたきっかけで仲間が集まり、何気ない会話が発展して、各自の今の経営に対する問題点や将来の方向性などについて話し合うことができました。

その話しはどんどん拡大し「このままでよいのか」「もっと時代を先取りする考え方は」とふくらんでいきました。皆の意見で、この場限りではもったいない、1カ月後にまた会って議論しよう、ということになり、その集まりはそれから小さな経営研究会へと自然発生的に形を成していきました。

このころは、私の経営に対する本格的な勉強の時期とオーバーラップしていきます。

それから何年かの間に、たくさんの時代をリードした学者やコンサルタントとの出会い、中央の情報も出来る限り徳島に集めて、地元徳島の経営者たちとのディスカッション、と活動は続きました。

私の提案したマネージメントの研究会や異業種交流会なども、活発に活動しています。

不況といわれて久しいなか、私は皆さんに「基本を大切にしよう」「たくさんの仲間と出会おう」と提案しています。不況だからこそひとりでも多くの

共に見つける、共に生きる

(有)フラワーショップ慶 代表取締役 米川 慶子



藍色の花。静かに控えめに、まわりの空間に溶け込んでしまいうようなインディゴブルーの花です。

私は、フラワーデザインスクールとショップをはじめ、25年になりますが、今ではこの藍染のアートフラワーは、私のライフワークになっています。

ストッキングという女性には欠かせないものを作り続けて、一時は安いものがどんどん市場をシェアし始めた時代がありました。

作っても作っても利益に結びつかない大変な時期でした。

そんな時、出入りのメーカーさんからある話が舞い込んできたのです。それは、イタリア旅行中だった女性が足の健康をそこねて入院したとき、イタリアの病院が進めてくれた荒々しい作りのストッキングをはいたところ、静脈瘤の状態が良くなり帰国できた、というのです。

メーカーさんはぜひその女性に会わせたいとのこと。何かヒントがある、と直観的に感じその話に応じました。

その後、その女性は世界で有数の

人と意見を交わし、そんな議論のなかから自分に合ったアイデアが生まれてくるのだと思います。それは、ちょっとしたすき間であったり、基本のアレンジだったりす

そもそも、地場の伝統産業の藍染に注目したのは、デザインスクールを開校してまもなくのころでした。

フラワーデザインは、もともと外国から入ってきたものですから、今でも勉強はドイツなど本場の外国に通っているくらいです。

そんななかで、このフラワーデザインを、何とか今までにない素材を使って新しい表現をしたい、と考えていたのですが、そこに出会ったのが藍染だったのです。

それからの私は、魅せられたように藍の色と向かい合ってきました。

もちろん、天然藍です。たまたま、私の主人は工業技術センターで藍に深く関わる仕事にあり、

私のあきんど塾活動の根底にあるもの

東光(株) 研究開発部取締役部長 佐藤 公子



フットケアの専門家となった方ですが、私はその出会いが今の会社のコンセプトを明確にしたと思っています。

「足の健康」。今までになかったストッキングの切り口です。

その後、当社の健康に対する追求はどんどん進化し、健康を中心に考えそして美を考えた商品を、日本中に送り出しています。

あなたもメンターしませんか？

起業の成否を左右するものを挙げるなら、一番目に「本人の努力と情熱」、つぎに「メンターの存在」となるのではないのでしょうか。

そんなメンター活動を、あなたもしてみませんか。

起業を、あなたのできる場所で経営の先輩としてバックアップし、徳島

に一人でも多くの起業家を創出して、徳島経済の活性化を目指しましょう。

ひいては、人間としての成長やあなたのビジネスに、何かの形できっとはねかえってくるはずですよ。

社会貢献ってそんなもののような気がするのです……。

AWAおんなあきんど塾と一緒にメンター活動を試みよう、と思われる方

るかも知れません。私はそんな場づくりに、これからも一役買えば、と考えています。

私のほしい情報にいちばん近いところの深い知識の持ち主だったことが幸いしたことも確かです。

しかし、古き良き素材を新しいものに取り入れ、さらに新しいものとして形づくっていく。まがりなりにもこんな私が今あるのは、誰よりも伝統的に藍の世界に関わってきた方たちに、教えられ、導かれ、泳がせてもらっているからなのです。

異なった世界の人たちが、違う世界に住む人に、枠を越えて協力をし合い、新しい世界をつくりあげていくことができたら……。

ビジネスのうえでの、私の持論です。私が生かされてきた経験からの、私の生き方です。

その健康に対する考え方を、四国という土壌を考えて四国八十八カ所のお遍路さんに当社のストッキングをはいていただき、歩いた結果をデータにして、いかに足に対する良い効果が出たかを検証してくださいという、徳島の大学の教授に巡り合うチャンスも得ました。

当社のみの開発・研究ではどうても考えつかなかったそれぞれの素晴らしい着眼点です。こんな出会いが私たちを支えてくださり、その結果人の役に立つ商品へと発展していることに心から感謝しています。

そして、この経験が後輩たちの女性起業家を育てたいとしている、私のAWAおんなあきんど塾活動の“根っこ”にあるものなのです。

は、あきんど塾メンバーまたは 徳島市商工課 TEL:21-5225 FAX:21-5196まで

お問い合わせも、どんどん受け付けておりますので、ご遠慮なくお電話ください。

なお、あきんど塾では「メンター講座」の開催を近々予定しています。

徳島ってこんなまち データからみた徳島

そのまちでビジネスをする場合、地域情報の収集は欠かせないもののひとつです。

起業に際して税金のこと、会社設立のことなどのノウハウは、プロに任せることもできますが、自分が本当に何をやりたいのかを絞りこむのは、自分以外にはなく、情報収集はそのためのものだからです。

そこで、今号では、徳島を示す数値在るデータのなかから、基礎的なもの、特徴的なもののごく一部を掲載してみました。

【徳島市のOUT LINE】

●位置／東経134°34′ 北緯34°4′
(徳島市幸町2丁目5番地徳島市役所)

●広ぼう／東西16.4km 南北19.45km

●面積／ H8.10.1(単位: km²)

面積	森林比率	可住地面積割合	可住地面積
191.23km ²	27.7%	71.8%	137.30km ²

●人口／264,338人 (H9.11.1推定)
男 /126,304人
女 /138,034人
世帯/100,619世帯

	徳島市	全国
昼間人口率	% 111.19	
外国人人口(人口10万人当)	人 307.8	908.1
人口増加率	% 2.0	1.6
人口密度(可住地面積1km ² 当)	人/km ² 1,958.4	1,044.5
人口性比(女百人につき男)	人 89.6	96.22
1世帯当たり人員	人 2.64	2.82
核家族世帯割合	% 54.9	58.68
単独世帯割合	% 30.2	25.60
高齢者のいる世帯割合	% 27.8	29.11
高齢者単身世帯割合	% 13.6	12.06
年少人口割合	% 16.0	15.94
生産年齢人口割合	% 68.5	69.42
老年人口割合	% 15.4	14.54
平均年齢	歳 39.8	39.6
自然増加率	% 0.19	2.1
出生率(人口千人当)	% 9.64	9.6
死亡率(人口千人当)	% 7.69	7.4
社会増加率	% 0.01	

【徳島の経済】

●産業の概況

	徳島市	徳島県	徳島市データ内順位
総生産額	百万円 991,804	2,447,006	
第1次産業の総生産(名目)比率	% 1.6	4.6	
第2次産業の総生産(名目)比率	% 30.4	35.5	
第3次産業の総生産(名目)比率	% 71.9	63.8	
経済成長率	% △0.2	1.9	
事業所数(民営)	所 18,437	47,338	①サービス ②卸・小売 ③製造
1事業所当従業員数(民営)	人 7.31	6.60	
第1次産業就業者比率	% 5.4	12.2	
第2次産業就業者比率	% 24.4	30.6	
第3次産業就業者比率	% 68.9	56.8	

●製造業(従業者4人以上事業所)

	徳島市	徳島県	徳島市データ内順位
事業所数	所 807	2,698	①家具・装備品 ②食料品 ③木材・木製品
従業員数	人 17,034	64,918	①家具・装備品 ②化学 ③食料品
製造品出荷額等	万円 46,633,212	146,529,653	①化学 ②飲料・飼料等 ③家具・装備品

●卸・小売業

	徳島市	徳島県	徳島市データ内順位
商店数	店 5,838	16,074	H6年商業統計調査(一般飲食店はH4年調査)
卸売業	1,511	2,584	①建築材料 ②食料・飲料 ③一般機械器具
小売業	4,327	13,490	①飲食料品 ②繊維物・衣服・身の回り品 ③家具・じゅう器・家庭用機械器具
一般飲食店	1,637	3,502	①喫茶店 ②一般食堂 ③中華料理店他
従業者数	人 34,326	71,730	H6年商業統計調査(一般飲食店はH4年調査)
卸売業	14,770	21,796	①食料・飲料 ②農畜産物・水産物 ③建築材料
小売業	19,556	49,934	①飲食料品 ②繊維物・衣服・身の回り品 ③自動車・自転車等
一般飲食店	6,272	12,448	①喫茶店 ②一般食堂 ③中華料理店他
販売額	万円 130,120,419	202,049,822	H6年商業統計調査(一般飲食店はH4年調査)
卸売業	92,830,922	119,573,340	①農畜産物・水産物 ②食料・飲料 ③建築材料
小売業	37,289,497	82,476,482	①飲食料品 ②各種商品小売 ③自動車・自転車等
一般飲食店	2,976,708	5,724,453	①日本料理店 ②中華料理店他 ③喫茶店

※合計に一般飲食店は含まず。

【徳島市特色全国ランキング】

●市民生活

	徳島県は	全国は
1位	女性の家事従事時間(平均)最小 時間 4.02	4.45
	薬剤師数(人口10万人当) 人 250.1	141.5
	心疾患死亡率(人口10万人当) 人 155.9	112.0
	身体障害者相談員数(人口10万人当) 人 22.8	9.3
2位	病院・一般診療所病床数(人口10万人当) 床 2,644.9	1,536.3
	医師数(人口10万人当) 人 249.7	184.4
	歯科医師数(人口10万人当) 人 84.9	64.8
	看護婦[士]数(人口10万人当) 人 572.5	398.8
	1日平均入院患者数(人口10万人当) 人 1,828.1	1,112.7
	幼稚園就園率 % 78.7	62.8
	映画館1事業所当の年間上映本数 本 49.5	33.2
	消費世帯1人当年間コメ消費量 精米kg 78.5	66.0
3位	耕地利用率 % 110.1	97.7
	病院数(人口10万人当) 施設 15.9	7.7
	県庁所在地の1世帯当清涼飲料水購入額 円 28,998	24,206
4位	歳出決算総額(人口1人当) 千円 1,110.9	805.4
5位	消費支出(勤労者1世帯当1か月間) 円 309,802	349,663
	個人預金残高(人口1人当) 万円 568.2	467.6

※本頁のデータは、つぎの資料によるものです。
H2・H7国勢調査、H7人口動態統計、H8県人口移動調査、H6市町村民所得推計結果、H6事業所名簿整備調査報告、H7工業統計調査、H6商業統計調査、H6～H7特定サービス産業実態調査報告書、H7社会生活統計指標、H7保健統計年報、H7医療施設調査、H6医師歯科医師薬剤師調査、H8学校基本調査、H7家計調査年報、H7都道府県別経済統計、H7耕地及び作付け面積統計速報、H5工業統計表品目簿、家計調査年報、1991米穀消費動向調査、徳島市情報管理課資料ほか

●商工業

	徳島県は	(全国の)
1位	宗教用具出荷額 百万円 24,871	26.9%
	硫酸ナトリウム 百万円 2,112	24.8%
	その他の無機顔料 百万円 13,846	22.0%
	卸売年間販売額の第2次卸構成比 % 40.3	
2位	精製糖 百万円 110	0.1%
	足袋類 百万円 1,400	19.7%
	雑種紙 百万円 32,379	9.0%
	スポーツ用革手袋 百万円 212	1.1%
3位	果実缶詰 百万円 7,797	8.9%
	鉛板、鉛木、床柱 百万円 4,450	10.1%
	金属製バックン、ガスケット 百万円 8,126	6.9%
	玉軸受、ころ軸受の部分品 百万円 16,331	8.1%
4位	ブローラー加工品 百万円 20,298	4.1%
	その他の清涼飲料水 百万円 78,584	6.2%
	カリウム塩類 百万円 1,943	4.2%
5位	経木、同製品 百万円 146	2.7%
	印刷用紙 百万円 44,893	4.5%
	プラスチック製靴 百万円 3,051	2.1%
	プラスチック製サンダル 百万円 1,188	3.6%
	卸売年間販売額に占める直取引卸、最終卸(流通経路が短い)割合 %	
	情報サービス業の年間売上高 万円 1,674	1,562 (全国)

経済と文化の融合

平岡 規佐子さん

今号の本シリーズは、平成8、9年の第60、61回「新制作展」に連続入選を果たした平岡 規佐子(ひらおか さこ)さん＝徳島市東新町1丁目出身・女子美術大学大学院在学中に登場いただきました。

「新制作」というのは、もともと東京芸術大学を出た日展の特選組が作った、極めてモダンな会であり、その創立会員には小磯良平や猪熊弦一郎などがいると聞きました。入選の作品以外にも、徳島にいらっしゃるご両親に作品を見せていただき、日本人らしくない“色”に驚いているのですが。

平岡 別に何も考えていませんが。

——そう、そんな感じで自然に色が滲み出てくるのでしょうか。

平岡 そう言われれば、家がブティックを経営しているのですが、流行の色には小さいころから敏感だっ



Kisako Hiraoka

た気もしますね。

——形もそうですね。何のこだわりもない。

平岡 教授に言われるのですが、君の作品をみているとクラクラすると。

interview

既存の絵画のルールや手法を、敢えて使わなくて、自分が楽しければよいという気持ちで描いていますから。

——将来はどうしようと考えていますか。

平岡 特に何も考えていません。今は楽しいことは絵を描くことだけど、表現方法が絵にとどまらず変わるかも知れないし。

——いっぱい好きなことをして私たちに驚かせてください。

◇ ◇

「新制作」に認められた平岡さん。とは言え、風みたいな彼女にびっくり。作風で感じたと同じナチュラルでピュアな少女に、これからの時代の作家を見た思いでした。

●インタビュー

AWAおんなあきんど塾 機関誌編集委員長

河野 世津子